

# 特別支援学校改革事業

特別支援教育課

## 1 事業目的

～学びの力で未来を拓き、夢を実現する人づくり～  
子ども、保護者のニーズに応える特別支援学校への改革



- 一人ひとりの子どもの可能性を最大限伸ばす学校の実現
- 地域社会、企業等とつながり、インクルーシブな社会をリード

## 2 事業概要

### (1) 質の高い教育の実現

障がいの状態に合わせた教育課程を編成し、可能性を伸ばす質の高い教育を提供

- ① 特別支援学校専門性向上事業
  - ・ 自立活動担当教員 25 名増員による各校の専門性向上サポートチーム(仮称)の機能強化
  - ・ 全県のキャリアステージ別研修体系及び学習目標や評価、項目を示す各校のシラバス(年間授業計画)の作成
  - ・ 外部の専門家が、特別支援学校改革全体の評価を行い、その知見を教育委員会へフィードバックするシステムを構築
- ② 特別支援学校学習環境改善事業
  - ・ 学習意欲、身体機能、コミュニケーション能力等向上用の図書及び教材などの学習環境の整備
- ③ 外部専門家活用事業
  - ・ 一流の芸術家やスポーツ選手を活用した授業や医療関係者等による職員研修
- ④ 遠隔教育推進事業
  - ・ 重度重複障がい等により家庭で学ぶ児童生徒に対し、共に学び合える遠隔授業実施体系を確立

### (2) インクルーシブな社会の実現

小中高等学校・地域・企業と特別支援学校が「協働の学び」のできる環境整備を推進

- ① 多様性を包み込む学校づくり支援事業
  - ・ LD 等通級指導教室の増設(61 教室→72 教室、サテライト教室の増設(2 教室→20 教室))
  - ・ 多層指導モデル構築の推進(読み指導プログラム MIM の実施校 6 校→12 校)
- ② 高等学校特別支援教育強化事業
  - ・ 高等学校における通級指導教室の増設(2 教室→3 教室(R2 年度松本筑摩))
- ③ 副学籍コーディネーター配置事業
  - ・ 副学籍コーディネーターの増員(2 名→4 名)
- ④ 就労支援総合推進事業
  - ・ 技能検定の拡充(清掃部門・喫茶部門+食品加工部門)
  - ・ 就労コーディネーター(5 名)による雇用の場の創出

### (3) 施設・設備

特別支援学校改革を支える計画的・効果的な施設整備の推進

- ① 特別支援教育連携協議会
  - ・ 特別支援学校の施設整備の基本方針と整備基準の検討
- ② 松本・若槻養護学校基本方針検討
  - ・ 老朽化や環境改善のため早急な対応が必要な松本養護・若槻養護について、施設整備の基本方針と整備計画の作成
- ③ スクールバス等緊急整備事業
  - ・ スクールバス配置基準を策定の上、児童生徒の通学環境を整備(2 台の増車)

3 令和 2 年度予算額 5689 万 8 千円